



緑の募金へ善意贈る

推進委 県内緑化などしつかりと

施全 組合
通安 同組
交協 業同
設業 協同

県交通安全施設業協同組合（白鳥和重理事長）は、会員より募った善意

を29日、「緑の募金」に寄贈した。今月開いたチャリティーゴルフコンペによるもので、県緑化推進委員会の伊藤道男常務理事に、チャリティーの

長である黒川恵史氏の副理事長から目録を手渡した（写真）。

飯田英徳主査とともに同組合事務所を訪れた伊藤常務理事は組合役員の見守る中、目録を受け取ると、「毎年多額の募金をいたたき有難い。この募金は県内各地の緑化をはじめ、最近では県民参

加の森づくり、子どもたちの自然体験など様々な活動に使わせていただいている」と報告。「今回の寄付金もしっかりと、

大事に使わせていただく」と述べ、今後変わらぬ協力を求めた。今回の寄付行為は、組合員の福利厚生事業として23日に開いたチャリテ

イーゴルフコンペで集まったもの。同組合では毎年2回、春と秋に行っている親睦交流などの機会を捉えて、組合員企業から募った善意を寄付している。

緑の募金に対する寄付は、一昨年秋と昨年の春・秋に引き続き、今回で4回目。きょう31日には、緑の募金へのこれまでの寄付行為に対して、県緑化推進委員会から、感謝状が贈呈される予定となっている。